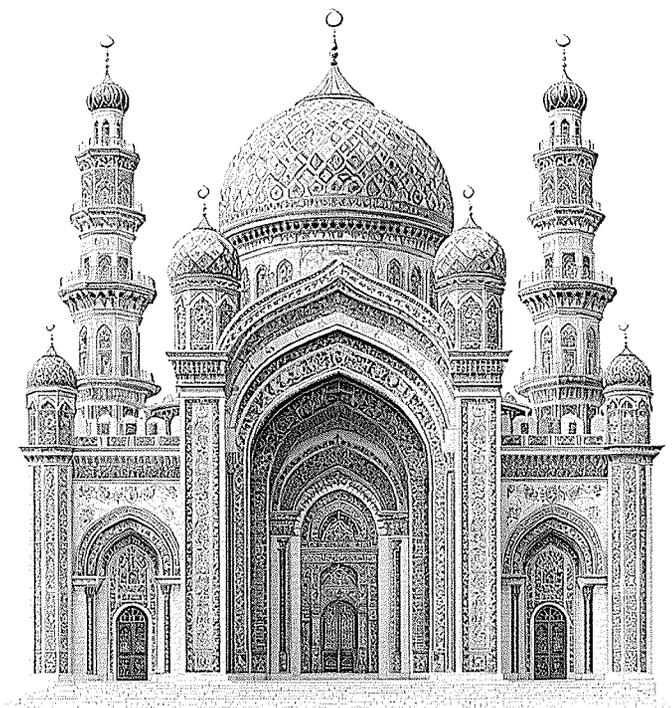


# 私のイスラーム観

徳増 公明



## 第五章

---

# 易しいフィクヒ（イスラーム法学）

この地球上の人類の5人にひとりにはムスリム（イスラーム教徒）であるといわれている。彼らの人生の信条・規範の拠り所となっているのが彼らの宗教・イスラームであり、その中から導き出されるシャリーア（イスラーム法）である。シャリーアをイスラーム法学者が法体系化したものをフィクヒ（イスラーム法学）という。したがってフィクヒの内容を知ることにより、ムスリムの生き方がある程度理解することができるはずである。

このフィクヒはイスラームの啓示が降りて以来、1400年余の間、ムスリムの間に脈々と生き続け、彼らの秩序、安心できる社会や生活の基盤となってきた。新しく発生したその時代時代の社会の諸問題にも適切に対処し、ムスリムのみならず一部の他教徒からもその正当性、科学的評価を得てきた。

シャリーアの法源はアッラーの言葉（意思）であるため、その真意については当然、法学者間で異論が生まれる。

本稿ではエジプトのイスラーム法学者アブドル ハリーム マハムード ムーサー著書「やさしいイスラーム法学－四学派における」（1974年、カイロのダール アル・フィクリ アル・アラビー社発行）を大部分活用した。同書の前書きで述べられているように、同書はムスリムの一般大衆に「フィクヒとは何か」を理解してもらうために、できるだけ簡潔にわかりやすく、問答形式にしてフィクヒ全般に渡って説明している。また、イスラーム法学の主流四学派ハナフィー、マーリキー、シャフィイー、ハンバリーの意見を重視の上、その中でもより一般的な見解を採用している。

本稿ではその中でも特に人間と人間に関する（ムアーマラート）フィクヒの一部下記の項目を取り上げた。

- (1) イスラーム教義の基本
- (2) タハーラ (浄化)
- (3) ウドゥー (浄め)
- (4) サラート (礼拝)
- (5) サウム (斎戒)
- (6) ハッジ (巡礼)
- (7) ザワージュ (結婚)
- (8) タラーク (離婚)

今日、すべてのムスリムがこれから説明するフィクヒを理解しているわけではない。またそれを十分に遵守しているとはいい難い。しかし、世界的に宗教を軽視する風潮の現代社会の中では、ムスリムは宗教に比較的密着した生き方をしていると思われる。

この「易しいフィクヒ」がムスリムの人たちのみならず非ムスリムの人たちにとってもフィクヒを理解する上で、役立ってくれることを祈願する。

## (1) イスラーム教義の基本

### イスラームの教えとは？

精神的障害をもたない正常なムスリムを導くアッラーの掟である。この掟に従うことにより、現世と来世で幸せになれる。別の言い方で言うならば、アッラーが使徒を通して伝えた人の道の掟、すなわち人生の法規範である。

## イスラームの法規範とは？

人間の行為は次の5つの法規範のいずれかに入る。

### 1－ワージブ（義務行為）とされるもの：

この範疇に入る行為の例としては、礼拝、喜捨、断食などがある。この行為を実行することにより報酬を得、怠ることにより罰を受ける。

### 2－ハラーム（禁止行為）とされるもの：

例として殺人、姦通、窃盗、飲酒などがある。この行為を実行することにより罰を受け、避けることにより報酬を得る。

### 3－マドゥーブ（奨励行為）とされるもの：

例として借金の時、期限を書き留めることなど。実行すれば報酬を得るが、実行しなくても罰せられない。

### 4－マクルーフ（好ましくない行為）とされるもの：

例として玉葱やにんにくを食べた後、人に会うことなど。この行為を避けることにより報酬を得るが、実行しても罰せられない。

### 5－ムバーハ（上記のいずれにも入らない行為）とされるもの：

例として自分の金で買い物をしたり、食事をしたりすることなど。この行為を実行してもしなくても、報酬や罰には関係ない。

## ムスリムが遵守すべき基本的義務行為とは？

次の5つ（五行）である。

### 1－シャハーダ（信仰の告白）：

【アッラーの他に神はなく、その使徒はムハンマドである】と言葉で表明すること。この言葉を単に口に出して言うだけではなく、その意味を理解し、信じなければならない。【アッラーの他に神はなく】とは、アッラー

の唯一性、自存性、全知全能ですべての創造主であることを意味している。  
**【その使徒はムアンマドである】**とは、ムアンマドは使徒であり、欠点のない最良の人間ではあるが一人の人間にすぎず、崇拜の対象とすべきでなく、また啓示はムハンマドがアッラーの使徒として伝えたアッラーの言葉であり、ムハンマドの言葉ではないという意味が含まれている。

## 2－サラート（礼拝）：

アッラーを讃え、感謝し、その存在を常に意識するために、決められた時間に、一定の方法で行う行為。

## 3－ザカート（喜捨）：

貧者救済などのため定められた額を納めること。

## 4－サウム（齋戒）：

ラマダーン月（第9月）に日中、飲食などを断ち、アッラーへの帰依を表面的にも、内面的にも示す行為。

## 5－ハッジ（巡礼）：

健康で経済力のある者が、一定期間マッカに行き、一定の儀式をやり遂げること。雑念を払い、アッラーの唯一性を確認し、今までの罪の許しをアッラーに請い願うイスラーム独特の行事である。

## 信じるとは？

すべてのことをアッラーに委ね、いかなる場合もアッラーの意に反することは行わず、アッラーの定めに従い、満足することである。別な言い方をすれば、アッラーの使徒にもたらしたすべてのものを信ずることである。

イスラームの六信とは？

次の6つである。

- 1 - 時空を超えてすべてのものを統治・統制している完全無欠な“アッラー”の存在を信じること。
- 2 - アッラーに服従し、命じられたままに行動する“天使たち”の存在を信じること。
- 3 - アッラーが幾人かの使徒を通して伝えたアッラーの言葉である“啓典”を信じること。
- 4 - アッラーが派遣した信仰深く、信頼に値し、正直で賢い“使徒たち”を信じること。
- 5 - “最後の審判の日と来世”を信じること。
- 6 - アッラーの定めた“宿命”を信じること。

## どのような天使がいるのか？

主な天使たちは次の通りである。

### 1 - ジブリール (ガブリエル) :

すべての使徒や預言者にアッラーからの言葉 (啓示) を伝えた天使。クルアーン曰く ((クルアーンが最初に啓示されたみついの夜) 天使たちと精霊は主の許しの下に、すべての神命をもって下る…)) (97章4節)。

### 2 - ミーカーイル (ミカエル) :

降雨の管理、食料分配の監督、胎児形成の役目などを行う天使。

### 3 - イスラーフィール

笛を2回吹く天使。1回目は現世の終末時、2回目は復活と最期の審判の日。1回目と2回目の間は40年あると言われる。

### 4 - イズラーイル (アズラエル) :

身体から魂を取り出す天使。別名「死の天使」。

クルアーン曰く ((死があなたがたのひとりに臨む時、われが遣わしたもの(天使)たちは、それ(魂)を取り上げる…)) (6章61節)。

#### 5 - ムンカルとナキール :

この二天使は死直後の人間の生前の行為を精算する。これはアッラーの前で最期の審判の前に行われる。

#### 6 - マーリクとリドワーン :

マーリクは地獄の管理をし、リドワーンは樂園の管理をする役目を果たす。

#### 7 - 常に人間と共にいて、人間のあらゆる言動を記録している二天使。

クルアーン曰く ((見よ、右側にまた左側に坐って、ふたりの(守護の天使の)監視者が監視する。かれはまだ一言もいわないのに、かれの傍の看守は記録の準備を整えている)) (50章17~18節)。

## 啓典にはどのようなものがあるか？

主な啓典として次の4つがある。

- 1 - ムーサー (モーゼ) に下ったタウラート (旧約聖書)
- 2 - ダーウード (ダビデ) に下ったザブール (詩篇)
- 3 - イーサー (イエス) に下ったインジール (福音書)
- 4 - ムハンマドに下ったクルアーン

その他に、イブラーヒーム(アブラハム)に下った30ページの啓示、イーサーに下ったインジール以外の70ページの啓示がある。

## 使徒にはどのような人がいるのか？

使徒は預言者の中で、特にアッラーの啓示を人類に伝えることを命じられた者であり、全部で315人（一説には313人）いたと言われる。その内、次の25人がクルアーンに記されている。アードム、イドリース、ノーフ（ノア）、フード、シユアイブ、サーリフ、イブラーヒーム、イスマーイー（イサマイル）、イスハーク（イサク）、ヤアクブ（ヤコブ）、ムーサー、ハールーン（アロン）、ルート（ロト）、ユースス（ヨナ）、アルヤサア（エリシャ）、ズルキフル（エゼキエル）、ダーウード、スライマーン（ソロモン）、アッユーブ（ヨブ）、イルヤース（エリヤ）、ザカリヤー、ヤヒヤー、ユースフ（ヨセフ）、イーサー、ムハンマド。

イスラームでは身の清潔は健康を維持する上で極めて大切であることを教えている。ハデースによると1400年前にすでに預言者ムハンマドは食事の前後に手を洗うよう人々に勧めている。またムスリムはサラート（礼拝）をする前にならず身を清めなければならない。

フィクヒ（イスラーム法学）の中ではこの清潔、浄化についてタハーラ（浄め）という項目で取り上げている。ここではこのタハーラについて、その方法としてのウドゥー（サラート前の浄め）、グスル（全身の浄め）、タヤンムム（砂などによる浄め）について述べる。

## （2）タハーラ（浄化）

### タハーラとは？

言語上は浄化を意味し、法学上は一般的汚物や体内からの汚物を取り除き、身体を浄化することを意味する。

## タハーラの方法は？

多数あるが主な方法は次の通り。

- 1 - 水を使用する。
- 2 - 薬品を使用する。
- 3 - 擦り取る。

## 水の分類は？

二つに分類できる。

- 1 - タハーラに使用できる水。

その水は川、海、雪、井戸、泉のいずれかからのものであっても、また量の多少や流動性や味の有無にかかわらず、混合物のない純粋な水である。

- 2 - タハーラに使用できない水。

中に加えたものが清潔なものであったにもかかわらず、色か味かによって変化した水で信仰上の身の浄めには使用できないが、日常生活上は使用できる。汚物が入って色か味かにおいて変化した水で、信仰上も日常生活上も使用できない。

上記の法的根拠として次のハディースがある。

「あるものが入っても色、味、においが変化しない水は浄水である」。

## (3) ウドゥー

### ウドゥーとは？

言語上は美しいとか清潔を意味し、法学的にはクルアーンに述べられて

いる身体の各器官を清水で浄めることをいう。

((信仰する者よ、あなた方が礼拝に立つ時は、顔と両手を肘まで洗い、頭を撫で、両足をくるぶしまで洗え)) (クルアーン5章6節)。

ウドゥーはイスラーム共同体だけのものか？

イスラーム以前の共同体にもあった。

「これは私のウドゥーであり、私以前の預言者たちのウドゥーである」(ハディース)。

### ウドゥーをする時のワージブ (義務行為) は？

次の7つである。

- 1 - ウドゥーをするとの意思表示。
- 2 - 顔を洗う。
- 3 - 両手と肘まで洗う。
- 4 - 頭部全体をぬぐう。
- 5 - 両足をくるぶしまで洗う。
- 6 - 各行為を決められた順序で行う。
- 7 - 各行為を休まず続けて行う。

ハンバリー派は顔を洗うという意味に、口をゆすぐこと、鼻孔をゆすぐことを含めている。マーリキ派は両手を洗う時は単に水を流すだけではなく、良く撫でて洗い、指の間もよく洗うとしている。

### ウドゥーをする時のマンドゥーブ (奨励行為) とは？

- 1 - まず、最初にビスミッラーヒ ワ アルハムドリッラー (アッラーの御名において、そしてアッラーに讃えあれ) と唱える。

- 2 - 両手と肘まで3回よく洗う。
- 3 - 口を水でゆすぐ（ハンバリー派ではワージブ）。
- 4 - 鼻孔をゆすぐ（ハンバリー派ではワージブ）。
- 5 - ぬれた指で耳の内外部をぬぐう。
- 6 - 歯を磨く。
- 7 - 両足の指もよく洗う。
- 8 - 水を経済的に使用する。等

### **ウドゥーの一般的な方法は？**

次のような順序で行う。

- 1 - ウドゥーを行うと言う意思を表示する。
- 2 - “アッラーの御名において、そしてアッラーに讃えあれ”と言う。
- 3 - 両手を手首まで3回洗う。
- 4 - 口を3回ゆすぐ。
- 5 - 鼻孔を3回ゆすぐ。
- 6 - 顔を3回洗う。
- 7 - 両手を肘まで3回洗う。
- 8 - 両手をぬらし、頭全体をぬぐう。
- 9 - ぬれた指で耳の内外部をぬぐう。
- 10 - 両足を3回よく洗う。

### **ウドゥーが無効になる場合は？**

一般にウドゥーはその後ずっと有効なので、次のサラートもウドゥーをしなくてもよいが、下記の場合は無効となる。

- 1 - 尿便、精液、屁などが放出された時。
- 2 - 嘔吐した時（マーリキー派、シャーフアイー派は有効）。
- 3 - 身体からの流血があった時。
- 4 - 精神病、酒酔い、失神などで精神状態が異常になった時。
- 5 - 睡眠などで上記のことが起きたかどうか疑問に思った時。

### **ウドゥーが無効とならない特別な場合とは？**

ウドゥーをした後、病気や怪我のため失禁、下痢、放屁、鼻血、流血などがあった場合は、そのウドゥーは有効である。

### **グスルとは？**

清潔な水で全身を洗い浄めること。

### **グスルの法的根拠は？**

クルアーン((あなたがたがもし大汚の時は、全身の沐浴をなさい))(5章6節)。

### **グスルを行う時の義務行為は？**

- 1 - グスルを行う意思表示をする。
- 2 - 全身に水をかける。
- 3 - 全身を手でこすって洗う。
- 4 - グスルを早く済ませる。
- 5 - 頭髪を手でよく洗う。

ハナフイー派は上記に加えて、口のゆすぎと鼻孔のゆすぎを行う。

## グスルを行う時の奨励行為とは？

- 1 - “アッラーの御名において”と言う。
- 2 - 両手のひらを洗う。
- 3 - 陰部をあらう。
- 4 - 身体の汚れをまず除去する。
- 5 - 歯を磨く。
- 6 - ウドゥーを行う。
- 7 - 頭部に十分な水をかける。
- 8 - あご髭などを手でよく洗う。
- 9 - 指をよく洗う。
- 10 - 他人に見られないようにする。

## グスルの一般的な方法は？

次の順序で行っている。

- 1 - 排泄期間を浄める。同時に不浄を浄める意思表示をする。
- 2 - 両手を石鹸で洗い浄める。
- 3 - 身体の汚れを除去する。
- 4 - サラートのウドゥーを行う。同時に十分量の水を頭上から3回かけて頭髪も手でよく洗う。
- 5 - 身体のあらゆる部分、特にあごの下、わきの下、耳の内外部、鼻孔や口のゆすぎもする。

## グスルを行った方がよい(推奨行為) 場合は？

- 1 - 金曜日の朝 (サラートル・ジュムアの礼拝へ行く前がよい)。

2 - イードル・フィットル（断食明けの祭り）イードル・アドハー（犠牲祭）の時。

3 - ハッジ（大巡礼）、オムラ（小巡礼）でイハラーム（白布）を着る時。

4 - マッカに入る時。

5 - 遺体を洗淨する時。

## **タヤンムムとは？**

言語上は真っ直ぐに進むという意味であり、法学上は地表の乾いた砂や土や石などに触れて顔と両手を淨めることである。

## **その法的根拠は？**

クルアーン（（また、もしあなたがたが病にかかるか旅行中である場合、また、厠から出て、あるいは女性と交わって水を見つけられない場合は、清い土に触れ、あなたがたの顔と両手をなでなさい）（4章43節）。

## **タヤンムムを行う時の義務行為は？**

1 - タヤンムムを行う意思表示をする。

2 - 地表の清潔で乾いたもの（砂、土、石など）を使用する。

3 - 顔全体をなで淨める。

4 - 両手をなで淨める。

## **タヤンムムの一般的な方法は？**

次の順序で行っている。

1 - タヤンムムを行う意思表示をする。

- 2 - 「アッラーの御名において」と言う。
- 3 - 清潔な乾いた砂などに両手で触れる。
- 4 - その両手で顔全体をなでる。
- 5 - 再びその砂などに両手で触れる。
- 6 - その両手で手首まで手をなで浄める（肘までした方がよい）。

### **タヤムムを行うことができる条件名は？**

- 1 - サラートの時間に入った時。
- 2 - タヤムムを行う意思表示がある。
- 3 - 水を必要としているが見つからない時。
- 4 - タヤムムを妨げる油などが介在していない時。
- 5 - 生理中ではない時。
- 6 - 病気などで水では浄めができないとの理由がある時。

### **タヤムムを行うことが許される場合は？**

- 1 - 水がまったくないときや、あっても浄めをするのに不十分量である時。
- 2 - 高齢や病気や怪我で水を使用できない時。
- 3 - そこにある少量の水が飲料水として必要な時。

## **（4）サラート（礼拝）**

イスラーム圏に行ってまず目につくのが様々な規模・形を持ったマスジドと、一定の時刻になるとアザーン（礼拝の召集の呼びかけ）が響き渡りサラートを始めるムスリムの姿である。このサラートこそムスリムにとっ

て最も大切な精神的支えであり信仰する上での基本的行為である。

## サラートとは？

言語学上は懇願、祈願の意であり、法学的には「アッラーフ・アクバル（アッラーは偉大なり）」から始まり、「アッサラーム・アライクム・ワ・ラハマトゥラー（あなた方に平安とアッラーの慈悲がありますように）」終了する言葉と祈りの行為である。

## サラートがなぜ信仰行為の中で優先されるのか？

サラートは信仰行為の基本である。ハディースでも「信仰（6信）の後に最も優先される行為は何ですか？（預言者曰く）決められた時間のサラートである」とサラートの最優先が述べられている。

## サラートの種類、法規範は？

義務行為である。一日5回のサラートは次の通り。

- 1－サラート・ル・ファジュール（夜明け前の礼拝）：2ラカアト。
- 2－サラート・ル・ズフル（正午の礼拝）：4ラカアト。
- 3－サラート・ル・アスル（午後の礼拝）：4ラカアト。
- 4－サラート・ル・マグリブ（日没直後の礼拝）：3ラカアト。
- 5－サラート・ル・イシャー（夜の礼拝）：4ラカアト。

注）1ラカアトとは直立姿勢から立礼、平伏、正座までの動作を言う。

サラート・ル・ジャーザ（葬式の礼拝）も義務行為であるが、一部の人が行えば、他の人たちも義務を果たしたことになる。

また、義務以外のスンナ（奨励行為）のサラートがある。一日5回の義

務のサラートの前後に行うサラートや断食明けと犠牲祭時のイード(祭り)のサラートや日食、月食時のサラートなどがある。

## サラートの法的根拠は？

クルアーン ((サラートの務めを守れ。本当にサラートには信者に対し定められた時刻の掟がある)) (4章103節)。

ハディース「預言者はムアーズをイエメンへ派遣した時、彼に言った。あなたが啓典の民の所へ行った時、アッラー以外に神はなく、その預言者は私であると警告するよう呼びかけなさい。そして、もし彼らがそれに応じたならば、アッラーは1日5回のサラートを義務づけたことを教えなさい」。

## サラートはいつ義務づけられたか？

啓示が預言者ムハンマドに下ってから12年後に義務づけられた。預言者ムハンマドがマッカからマディーナへ移住(ヒジュラ)した1年半前の夜、すなわち預言者ムハンマドが昇天(イスラー)したヒジュラ暦7月27日の夜である。預言者ムハンマドが天使ジブリールにから教わって行った最初のサラートはイスラーの夜の翌日のサラート・ル・ズフルであったと言われている。

## サラートをする意義は？

アッラーに感謝し、罪の許しを乞う。

預言者が言った「もし、あなた方の戸の近くを流れる川がその戸を5回洗ったらどうなると思うか?」。すると人々は言った「何も残らない。」。

預言者が言った、「これはちょうど5回のサラートのようだ。アッラーはサラートでその人の罪を消される」。

## **サラートをすることによる成果は？**

- 1 - アッラーから命じられたサラートをする義務を果たす。
- 2 - 現世での悪行為から遠ざかる。自分自身が常に正しい道に導かれんことをアッラーに願うと同時に、自分が正しい道へ進むことを自覚する。
- 3 - 最期の審判で良い評価を得、来世で報酬を得る。

クルアーン ((サラートの務めを守れ。本当にサラートは醜行と悪事から遠ざける)) (29章45節)。((信仰して善行に勤しむ者には、本当にわれは唯一の善事にも必ず報奨を空しくしない)) (18章30節)。

## **5回のサラートの時刻は？**

- 1 - サラート・ル・ファジュル：東の地平線に左右に広く夜明けの光が明るく見え始めた頃から、太陽が昇る寸前までの時間。睡眠や重病で起きられなかった場合を除き、太陽が昇り始めた以後のサラートは許されない。
- 2 - サラート・ル・ズフル：太陽が真上に来た時から、太陽が傾きすべての物の影がその物と同じ長さになるまで。
- 3 - サラート・ル・アスル：物の影がその物と同じ長さになった時から、日没までの時間であるが、その間の遅い時間に行うのは好ましくない。また、理由がない限り、日没時には禁止されている。1ラカアトした時、日没に入った時はそのサラート・ル・アスルは有効である。
- 4 - サラート・ル・マグリブ：日没から夕焼けが消えるまでの時間。

5 - サラート・ル・イシャー：夕焼けが消えてから夜明けの光が見え始める前までの時間。

## サラートの時間を忘れて、睡眠してできなかった時は？

忘れた場合は思い出した時にサラートを行う。

ハディース「サラートを忘れた者は、それを思い出した時にせよ。」

睡眠の場合は目覚めた時サラートを行う。

ハディース「サラートの時間に睡眠した者は、目覚めた時にしなさい」。

## サラートの仕方は？

基本動作と言葉を次の順序で行う。

- 1 - ニーヤ：創造主アッラーの前に立つことを認識し、キブラ（マッカの方角）を向いてサラートを行う場所に謙虚に立ち、これからサラートを行うというニーヤ（意思表示）をする。
- 2 - タクビール：両耳たぶまで（または両肩以上まで）両手を前方に開くように上げ、タクビール（アッラーは偉大であるとの意味の言葉；アッラーフ・アクバルと唱えること）をする。
- 3 - キヤーム：右手を上にした両手を臍の所で重ねて、キヤーム（直立の姿勢）となる。そして、クルアーンの開端章（1章7節）クルアーンの他の章またはその一部をアラビア語で唱える。開端章を唱えた後、アーミン（かくありますように）と言う。ただし、サラート・ル・ズフルとサラート・ル・アスルは声を出さず口の中でクルアーンを唱える。
- 4 - ルクーウ：タクビールを唱えながらルクーウ（立礼）をし、口の中で

“偉大なるわが主を賛美すると3回唱える。)

5-キヤーム：その後、“アッラーは称える者に応えられる。”と唱えながらキヤームに戻る。

6-スジュード：タクビールを唱えながらスジュード（平伏）し、口の中で“崇高なわが主を称賛すると3回唱える。

7-ジュルース：タクビールを唱えながらジュルース（正座）する。

8-スジュード：もう一度6をする。

9-ジュルース：もう一度7をする。

10-タクビールと共に立ち上がりもう1ラカアをする。

11-タシャッフド：2ラカアト済んだらジュルースのままタシャッフド（アッラーを称え、預言者、人々の平安を祈り、アッラーの唯一性とムハンマドがその使徒であることを誓言する内容の5節からなる文）を口の中で唱える。“アッラーの他に神はなし”と唱える時、握っている右手人差し指を前方に伸ばし、アッラーの唯一性を示す。

12-ラカアトの数によるサラートの仕方。

(A) サラート・ル・ファジュール（2ラカアト）の場合：タシャッフドに続いて、預言者ムハンマドとその家族、預言者イブラーヒームとその家族への祝福を願い、アッラーを賛美する6節からなる文を口の中で唱える。そして、顔を右に向けて、左に向けてそれぞれ“あなた方に平安とアッラーの慈悲がありますように”と唱えてサラートは終わる。

(B) サラート・ル・マグリブ（3ラカアト）の場合：タシャッフドに続いて、タクビールと共に立ち上がり、もう1ラカアトをし（クルアーンは開端章のみ口の中で唱える）、その後サラート・ル・ファジュールの場

合と同様に、タシャッフドから顔を右、左に向けて“あなた方に平安とアッラーの慈悲がありますように”と唱えサラートは終わる。

- (C) サラート・ル・ズフル、サラート・ル・アスル、サラート・ル・イシャール（4ラカアト）の場合：11のタシャッフドに続いて、タクビールと共に立ち上がり、もう2ラカアトをし（クルアーンは開端章のみ口の中で唱える）、4ラカアトの後、(A) (B)と同様の行為をしてサラートは終わる。

### **サラート・ル・ジュムア（金曜日の合同礼拝）**

イスラーム諸国では金曜日が休日である。そして、人々は昼近くなるとウドゥーウ（身の清め）をして、サラート・ル・ジュムアと呼ばれる礼拝をするためにマスジドへ向かう。小さなマスジドでは中に入りきれず人々が外で礼拝をする姿がよく見かけられる。ムスリムにとってサラートの中でもこのサラート・ル・ジュムアは特に欠かすことのできない重要性もっている。

### **サラート・ル・ジュムアの方法は？**

イマームがマスジドの壇上から説教した後、サラート・ル・ファジュールと同様に行う2ラカアトの礼拝。

### **サラート・ル・ジュムアの法規範は？**

ムスリム各自に課せられたワージブ（義務行為）であり、サラート・ル・ズフル（正午の礼拝）の代わりとなるものではない。但し、サラート・ル・ジュムアの時間に間に合わなかった時は、サラート・ル・ズフルがワージブ

ブとなる。

## その法的根拠は？

クルアーン ((あなたがた信仰する者よ、合同礼拝 (サラート・ル・ジュムア) の日の礼拝の呼びかけが唱えられたならば、アッラーを念じることに急ぎ、商売から離れなさい))

(62章9節)。

## 一日5回の義務のサラートと異なる点は？

- 1 - 男性には義務行為であるが、女性には義務行為ではない。但し、彼女達がサラート・ル・ジュムアをした場合はサラート・ル・ズフルの代わりをしたことになる。
- 2 - 金曜日に居住地またはその近くの場所に存在すること。但し、15日以上、旅先で滞在した場合、ハナフィー派ではサラート・ル・ジュムアは義務行為である。他派は4日以上、滞在した場合、義務行為となる。
- 3 - サラート・ル・ジュムアをする場合、人数はハナフィー派が4人以上、マーリキー派が12人以上、シャーフィイー派が40人以上としている。
- 4 - マーリキー派はサラート・ル・ジュムアの場所をマスジド (モスク) と限定している。
- 5 - 次の場合はサラート・ル・ジュムアが許される。病気・盲目・高齢の人達、厳しい寒さ・暑さ雨でサラート・ル・ジュムアをする場所まで行くのが大変な時、自分の財産を失ったり、身の危険がある場合など。

## サラート・ル・ジュムアをする時刻は？

サラート・ル・ズフルと同様、つまり太陽が真上に来た時から太陽が傾きすべての物の影がその物と同じ長さになるまでの時間。時間帯の前後にすることはできない。

サラート・ル・ジュムア時の説教の内容において欠かせないものは？

シャーフィイー派とハンバリー派ではアッラーへの称賛と預言者ムハンマドへのアッラーの祝福を願い、そして、クルアーンの一部の暗誦とムスリムたちへの祈願がある。マーリキー派ではアッラーからの警告と報酬のみとしている。

## イマームの説教の条件は？

- 1 - サラート・ル・ジュムアの前にする。
- 2 - 説教をする意志表示をする。（マーリキー派は条件としていない。）
- 3 - アラビア語です。（ハナフィー派はアラビア語以外の言葉でもよいとする。）
- 4 - サラート・ル・ジュムアの時刻が来てからする。その前に説教した場合は無効。
- 5 - サラートに来た人たちによく聞こえるように、イマームは大きな声でする。
- 6 - 説教とサラートの間はあまり間を置かない。

## 説教にはスンナ（奨励行為）があるか？

次のものがある。

- 1 - イマームはムアッズイン（礼拝を呼びかける人）がアザーン（礼拝の

呼びかけ)を終えるまでに、マシジドの壇上に座る。

- 2-サラートをするために来た人たちの前で、アッサラーム アライクム (あなた方の上に平安あれ)と挨拶をする。
- 3-前半説教と後半説教の間に座る。
- 4-説教はまずアッラーを称えてからはじまる。
- 5-説教はサラートに来た人たちがよく理解できる正しい標準語を使用する。
- 6-説教は長からず、短からず、程よい長さの時間とする。

## **サラート・ル・ジウムアはマシジドで行わなければならないのか？**

マリーキー派はマシジドと限定しているが、その他の派はどんな建物でも空き地でもよいとしている。

## **イマームが説教している時、他人と話をしてもよいか？**

イマームが壇上に登ってから説教が終了するまで話をしてはならない。話すことはハラーム (禁止行為)。イマームは説教以外にも人々に気付いた点を注意したり、命じたりすることができる。

## **特別な理由なくしてサラート・ル・ジウムアに遅れてきて、間に合わなかった場合は？**

イマームがすでにサラート・ル・ジウムアを終えていた時はサラート・ル・ズフルをすればよい。遅れて来た人たちが複数の場合は合同でサラート・ル・ズフルをすることができる。

## サラート・ル・ジュムアに遅れて来たが、まだ、1ラカアト以上残っていた場合は？

サラート・ル・ジュムアを一緒になって行い、引き続き不足分を行い、2ラカアトを完成させる。1ラカアト以下しか残っていない時は不足分を行い、サラートを完成させるか、別途サラート・ル・ズフルするか学派によって意見が異なる。

## サラート・ル・ジャマーアとは？

2人以上で一緒にサラートすることで、その中の一人がイマーム役をしてサラートを先導する。一緒にサラートを行う人は男性でも女性でも分別ある子供でもよい。

## サラート・ル・ジャマーアの法規範は？

ハナフィー派とシャーフィイー派ではファルド キファーヤ（義務行為であるが他の人が行ったことにより、自分の義務行為の責任を果たしたことになる。）。

ハンバリー派ではザージブ（義務行為）としているが、一緒にサラートをする人が近くにいない場合は一人でのサラートも認められる。

## サラート・ル・ジャマーアの法的承認の根拠は？

クルアーン“あなたが彼ら（信者）の中であって、彼らと礼拝に立つ時は、彼らの一部をあなたと共に礼拝に立たせなさい。”（4章102節）

ハディース“預言者は言った。「サラート・ル・ジャマーアは一人で行うサラートより27倍の価値がある。」（ブハーリー）

イジュマーウ (法学者の合意) “すべてのイスラーム指導者たちがサラート・ル・ジャマーアの法的承認に合意した。”

### **アザーンについて：**

サラート (礼拝) はできるだけ多くの人々と一緒に行ったほうがよいとされている。サラートの召集を呼びかけるアザーンはサラートの時刻を知らせるとともに、そのためにもある。アザーンはイスラーム諸国では毎日5回のサラート時間になると規則的に聞かれる。時計のない時代には大変重要な役割を果たしたに違いない。現代でもアザーンを聞くことによって生活のテンポにリズムをつけている人もいるようだ。夜明け前のサラート・ル・ファジュルの時のアザーンは、真面目なムスリムにとって助かるが、サラートを行わない人にとっては迷惑であるかもしれない。また、集まった人々がサラートを行う直前に、これからサラートを行うから列に並ぶようにと呼びかけるイカーマがある。

### **アザーンとは？**

言語上は通知の意味。法学上はサラートの時間を一定の方法、言葉により人々に知らせること。

### **アザーンの法的根拠は？**

クルアーン ((あなたがた信仰する者よ、合同礼拝の日のサラートの呼びかけが唱えられたならばアッラーを念じることに急ぎ、商売から離れなさい)) (62節9章)。

## 預言者ムハンマドには何人のムアッズイン (アザーン) をする人がいたか？

マディーナにビラールとアブドゥラー、マッカにアブー マハズーラの計3名がいた。

## いつアザーンが正式に始まったのか？

ヒジュラ暦1年目 (西暦622年) である。

## アッザーンのやり方は？

ムアッズインが多くのの人々によく聞こえるように高いところからサラートに入った時間を確認すると同時に、大きな美声を張り上げて次の言葉を唱える。

- 1 - アッラーは偉大である。(4回)
- 2 - アッラーの他に神はないことを誓言する。(2回)
- 3 - ムハンマドはアッラーの使徒であることを誓言する。(2回)
- 4 - サラートに来なさい。(2回)
- 5 - 成功のために来なさい。(2回)
- 6 - アッラーは偉大である。(2回)
- 7 - アッラーの他に神はない。(1回)

以上が一般的なアザーンの言葉であるが、サラート・ル・ファジュール (早朝の礼拝)時は5の次に「サラートは睡眠にまさる(2回)」を唱える。また、一部の学派では1を2回することとしている。

## **アザーンの条件は？**

アザーンはアラビア語で順序正しく大声です。ムアッズイン正常な知能の持ち主のムスリムで、サラート開始時刻をよく知っている人である。

## **アザーンがサラートの開始時刻以前に行われた場合は？**

アザーンがその一部でもサラートの開始時刻以前に行われていたら、そのアザーンはすべて無効である。

## **アザーンの時のスンナ（奨励行為）は？**

- 1 - 身を浄める。
- 2 - 大声で言う。
- 3 - ミナレットやマスジド（モスク）の屋上などの高い所で行う。しかしながら、高層ビルのように高すぎて人々に聞こえない場所は不適當。
- 4 - どこで行う場合もキブラ（マッカの方向）を向く。
- 5 - 「サラートに来なさい」と唱える時、まず右を向き、次に唱える時、左を向く。
- 6 - 耳に手をあてる（人差し指を耳の穴に）。
- 7 - ゆっくり唱える。
- 8 - アザーンを聞いた人もそれに合わせて口内に唱える。

## **アザーンの後、サラートの前にマスジド（モスク）から出ることはできるか？**

特別な理由がない限りマクルーフ（よくない行為）である。

## イカーマとは？

サラートを行う直前に唱えるもので“サラートを今から行う”という呼びかけである。アザーンとの違いはアザーンがサラートの時間を知らせるのに対し、イカーマはサラートをこれから行うことを知らせる目的を持つ。

## イカーマのやり方は？

- 1 - ハナフィー派：上述のアザーンの一般的方法の文句とほとんど同様であるが5と6の間に“サラートはこれから始まる（2回）”という文句が唱えられる。
- 2 - シャーフアイ派、ハンバリー派：上記ハナフィー派と同じ文句、順番であるが、最後の7を除きすべて2回ずつ唱える。
- 3 - マーリキー派：“サラートはこれから始まる”を1回唱える以外、2のシャーフアイ派、ハンバリー派と同様。

## イカーマをする時のスンナは？

- 1 - 身を浄める。
- 2 - どこで行う場合もキブラを向く。
- 3 - 早く唱える。

## アザーンとイカーマを同一人物が行ってもよいか？

別の人が行わなければならない。

## 女性がアザーンとイカーマを行うことができるか？

女性はアザーンもイカーマもできない。

ハディース「女性にはアザーンもない。アーイシャ（預言者の妻）が言った。イカーマなしで我々はサラートをを行った」

**種々なサラートについて：**

ムスリムの義務行為のひとつとなっている一日5回のサラート以外にも、ムスリムにとって大切なサラートは幾つかある。例えば、信仰心がとりわけ高まるラマダーン月には、サラート・ル・イシャー（夜の礼拝）の後にサラート・ル・タラーウィーフと呼ばれる特別なサラートが行われる。また、イード・ル・フィットル（斎戒明け）初日早朝のサラート、イード・ル・アドハー（犠牲祭）初日早朝のサラート、旅行者に対するサラートなどがある。

## **サラート・ル・タラーウィーフとは？**

ラマダーン月の間、サート・ル・イシャーの後にを行う8ラカートのサラートである。このサラートでは立ったままの時間が長いので、4ラカートの後にジュルス（正座）のままタラーウィーフ（休憩時間をとるの意）することからこの名がついた。

## **現在では多くのムスリムがサラート・ル・タラーウィーフとして、20ラカートを行っているのはなぜか？**

預言者ムハンマドと初代カリフ・アブーバクルの時代には8ラカートしか行わなかったが、二代カリフ・ウマルから回数を増やし、クルアーン読誦部分を短くした。8ラカートの代わりに20ラカートの完全なサラートをするのであればよいが、数をこなすために早くサラートを済ませてしまうのでは意味がない。

## サラート・ル・タラーウィーフにおけるクルアーンの特 別な読誦方法は？

預言者の教友たちは毎晩サラート・ル・タラーウィーフの時、ひとつのジュズウ（クルアーンは30のジュズウに等分されている）ずつ読誦し、30日間でクルアーン全部を読誦していた。従って、毎晩ひとつずつ読誦するのがよいとされている。

## サラート・ル・イードとは？その法規範は？

イード・ル・フィトルの初日のシャワール月（第10月）1日早朝と、イード・ル・アドハー（犠牲祭）の初日のズー・ル・ヒッジャ月（第12月）10日早朝に行われるサラートである。法規範としては一般的に行った方が良い行為（スンナ）とされているが、ハナフィー派では義務行為（ワージブ）とみなし、ハンバリー派では一部の人が行えば、他の人たちが行わなくても良い義務行為（ファルド キファーヤ）とされている。

## サラート・ル・イードのやり方は？

2ラカアトだけである。最初のラカアトでは、サラートを始めるタクビール（アッラーフ アクバルとすること）の後、別途タクビールを6回言う。また、2ラカアト目の始めにタクビールを5回言う。各ラカアト毎に両手を耳元近くまで上げる。最初のラカアトではクルアーン1章の開端章と50章のカーフ章か87章の至高者章を読誦し、2ラカアト目に開端章と54章の月章か88章の圧倒的事態章を読誦する。タクビールもクルアーン読誦も大きな声で行う。

## サラート・ル・イードの説教とサラート・ル・ジュムア (金曜合同礼拝)の説教との違いは？

サラート・ル・ジュムアはサラートの前に行くが、サラート・ル・イードはサラートの後に行く。説教の内容はイード・ル・フィットルの時は斎戒明けのサダカ（喜捨）について述べ、イード・ル・アドハーの時には犠牲祭の法規などについて語る。

## サラート・ル・イードを行う場所は？

イード（祭り）の喜びとイスラームの寛容さをお互いに分かち合うため、覆いや天井のない広い空き地や砂漠が相応しい。マスジドは事情がある場合を除いて好ましくないとされる。

## サラート・ル・ムサーフィルとは？その特徴は？

旅行中の一日5回の義務のサラートである。そして、旅行中は4ラカートのサラート、すなわちズフル、アスル、イシャーのサラートは2ラカアトに短縮される。但し、マグリブとファジュールのサラートはそのままで3ラカアト、2ラカアトである。

## その法的根拠は？

クルアーン（(あなた方が地上を旅する時、もし信仰のない者たちに害を加えられる恐れのある時は、礼拝を短縮しても罪はない)）（4章101節）。

ハディース“イブン ウマルは言った。「私は預言者の旅に同行したが、その間のサラートは2ラカアトより多く行われなかった。アブー バクル

もウマルもウスマーンも同様であった」。

## （5）サウム（齋戒）

イスラーム暦のラマダーン月（第9月）は世界中のムスリムがこの一ヶ月間、日中サウム（またはスィヤーム）と呼ばれる飲食を断つ行事を遂行する。多くのイスラーム諸国ではこの月をクルアーンが下った聖なる月として、信仰をより深め専念するため労働時間を短縮している。これに対し、イスラーム諸国の現地にいる外国人の中にはこの月は仕事の能率が下ると不満を述べる者もいる。信仰重視の行き方をするムスリムにとっては、仕事ばかりの人生を理想とすることはできないことである。宗教心の希薄な日本人には理解しがたいことかもしれない。

### サウムとは？またその効用は？

言語上は話す、歩く、飲食を完全に絶つこと。法学上は日中（夜明けから日没まで）飲食、性欲を絶つことである。サウムの効用は一定期間禁欲をすることにより自制心を養ったり、貧者の苦しみを身をもって知り、慈悲心を養ったりすることなど。

### ラマダーン月のサウムの法規範とその始まりは？

断食のできる能力を有する全てのムスリムに対する義務行為である。イスラーム暦2年8月（西暦624年）に定められた。

## サウムの法的根拠は？

クルアーン ((信仰する者よ、あなた方以前の者に定められたように齋戒(サウム)が定められた)) (第2章183節)

クルアーン ((あなた方のうち、この月に(家に)いる者は、この月中、齋戒しなければならない)) (第2章185節)

ハディース「預言者は言った。イスラームの基本は五柱からなっている。

- ①アッラー以外に神はない、ムハンマドはアッラーの使徒であるとの誓言
- ②サラート③ザカート④サウム⑤ハッジである」

## サウムを成立させる必須要素は？

次の3つである。

- 1 - サウムをするという意志。
- 2 - 禁欲 (食欲、性欲)
- 3 - サウムをする人。

## サウムを成立させる必要条件は？

- 1 - 成人に達すること。
- 2 - サウムをすることができる能力の持ち主。
- 3 - ムスリムであること。
- 4 - 定められた期間 (ラマダーン月) に行う。
- 5 - サウムをする意志をもつ。
- 6 - 健全な精神の持ち主。
- 7 - 生理、出産時の出血があった場合、それが清められること。

## ラマダーン月の初日はどのようにして定められるか？

次の二つの方法による。

- 1 - 空が澄んでいる時は、新月が肉眼に見えた時。
- 2 - 空が曇ったりして新月が見えない場合は、イスラーム暦のシャアバーン月（第8月）を30日間とし、翌日をラマダーン月初日とする。

## ラマダーン月の最終日の決め方は？

次のシャッワール月（第10月）の新月を見て決定する。その場合、少なくとも二人の成人男性が新月を見なければならない。空が曇ったりして新月が見えない場合は、ラマダーン月の30日目を最終日とする。

## サウムを実行しなかった場合、完成しなかった場合（すなわち無効にした場合）の償いは？

- 1 - もう一度サウムをやり直し、カッファーラという義務行為を遂行する。  
カッファーラとは次の3つの内の一つを実行することである。
  - a) ムスリムの奴隷を一人開放する。
  - b) 60日間のサウムを行う。
  - c) 60人の貧者に食物を与える。
- 2 - もう一度サウムをやり直す。

## サウムをやり直し、カッファーラを遂行する償いが課せられるのはどのような場合か？

次のいずれかの行為をした場合である。

- 1 - 意図的な飲食をした場合。

2 - 意図的な性行為をした場合。

3 - 喫煙をした場合。

### **サウムをやり直す償いが課せられるのはどのような場合か？**

次の3つのいずれかの場合である。

1 - 小麦粉、生の米、練り粉、塩など、そのものだけでは食欲そそる食物と見なされないものを口に入れた時や、薬を飲んだ時。

2 - 病気、旅行中の場合や、強制されたり、間違いで飲食した場合（例えばがいた水が喉の奥まで入ってしまった場合など）。

3 - 性行為なしの夢精や、ファジユル（夜明け時）に入ったかどうかはつきりしない時に飲食か性行為があった場合。

### **サウムを行う上でムバーハ（許される行為）は？**

あいさつ程度の接吻、化粧、歯磨き、うがい、サウムに影響を与えない放血など。

### **サウムを行う上で好ましくない行為（マクルーフ）は？**

口内だけの味見、チューインガムなどをかみこむこと、ためた唾を飲み込むこと、イフタール（断食明けの食事）の時間を遅らすこと、人を中傷することなど。

### **ラマダーン月に飲食が許される場合は？**

数多くあるが、その内のいくつかを挙げる。

1 - 病気の時は食事を取った方がよい。

- 2 - サウムを行うと致命となる、または五感を失うほど重病になると思われる場合は、食事をとらなければならない。
- 3 - 今は病気ではないがサウムを行えば思い病気になると思われる場合、ハナフィー派とハンバリー派では飲食できる。マーリキー派では飲食をしなければならない。シャフィイー派は実際に病気になるまで飲食を認めない。
- 4 - 妊婦と乳母が自分自身や自分の胎児、乳児に対しサウムを行うことので不安があった時は、その不安がなくなった時期にカフアーラなしのサウムを行い、補うことができる。
- 5 - 生理や出産時の出血中の女性はサウムを行ってはならない。
- 6 - サウムができないほどの空腹と喉の渇きの状態にある者は飲食することができるが、後でサウムをやり直さなければならない。
- 7 - 一年を通じてサウムができない高齢者や治る見込みのない病人は飲食することができるが、ラマダーン中は毎日、貧者に食物を与えなければならない。
- 8 - 病気や旅行などでラマダーン中にサウムができなかったが、別な時期にすることができる者は、後でサウムを行わなければならない。カフアーラは必要ない。
- 9 - 生理などの事情でサウムを行わなかった者が、日中そのサウムをしなくてもよい事情が消滅した時は、その時点からサウムを開始しなければならない。

## ラマダーン月に事情があって飲食した者は、後にその日数分をやり直さなければならないが、その時期は？

サウムのできる状況であるならばいつ行ってもよいが、ラマダーン月明けの祝日（イード・ル・フィットル）とズ・ル・ヒッジヤ月の犠牲祭祝日（イード・ル・アドハー）の各3日間は行ってはならない。

## やり直さなければならないサウムを、もし翌年のラマダーン月までにできなかつた場合は？

サウムの代わりに貧者60人に食物を与える。

## サウムを行うときのスンナ（奨励行為）は？

数多くあるが、その内のいくつかを挙げる。

- 1 - 日没になったら、すぐにイフタール（飲食）をする。まず水を飲み、なつめやしを食べる。
- 2 - イフタールとサラート・ル・マグリブ（日没時の礼拝）の前に、アッラーのお陰で無事その日のサウムを終え、飲食できることをアッラーに感謝するドアー（祈り）を捧げる。
- 3 - スフル（真夜中の食事）をとる。できれば夜明けに近い頃がよい。
- 4 - 無駄口を言わない。
- 5 - 貧者に多くの施しをする。
- 6 - 親類、縁者や貧者に優しくする。
- 7 - クルアーン読みや読書に専念する。
- 8 - 日夜、サラートやドアーに専念する。できればそれをマスジド（モスク）でする。